

慶應義塾大学病院におけるPDCAサイクルの構築体制について

当院は、「患者さんに優しく患者さんに信頼される患者さん中心の医療」を目標としている。
日々刻々と変化する医療環境において、この目標を達成するためにPDCAサイクルを構築し活用する。

①新規抗がん剤の導入
患者理解度の向上
安全かつ効率的な運用

②がん相談体制の充実
患者さんが相談しやすい、かつ情報取得しやすい環境の整備

③緩和ケアスクリーニング実施体制の充実
つらさのスクリーニングシート等を用いた苦痛のスクリーニング

④周術期における口腔内ケアの充実
周術期口腔ケア実施件数の増加
多職種と相互連携強化

①新規抗がん剤の導入
患者さんへの説明文書を作成、配布
定期的にオンコロジーボードを開催し
適切な院内レジメンの運用を確認

②がん相談体制の充実
デジタルサイネージを用いてのがん相談支援センター周知、
がん情報の提供

③緩和ケアスクリーニング実施体制の充実
がん患者さん全員に継続的につらさのスクリーニングを施行
スクリーニング結果に基づく苦痛への確実な対応

④周術期における口腔内ケアの充実
周術期口腔ケアを要する患者さんのスクリーニング
歯科衛生士や看護師等多職種の口腔ケアへの参加

Plan

Do

Action

Check

①新規抗がん剤の導入
レジメンの説明文書の改善、支持療法の整備
レジメン運用に問題があれば直ちに周知、対応

②がん相談体制の充実
情報発信・提供内容のさらなる充実

③緩和ケアスクリーニング実施体制の充実
苦痛が改善されたかを継続的に評価するシステムの構築

④周術期における口腔内ケアの充実
周術期口腔ケアの改善

①新規抗がん剤の導入
患者理解度の確認、抗がん剤による副作用の発現
状況を評価、レジメン使用件数、適切な運用の管理

②がん相談体制の充実
情報発信・提供内容の評価
がん相談支援センター周知の評価

③緩和ケアスクリーニング実施体制の充実
つらさのスクリーニングを実施した件数の確認
その評価に基づき介入した患者数の把握

④周術期における口腔内ケアの充実
周術期口腔ケア実施内容と件数の評価